2026年11月号
令和8年10月20日発行/No,407

いちょう

発行所：待乳山 本龍院
〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1
☎ 03-3874-2030

「聖天様を信仰する覚悟」

副住職　杉本真海

重大な決断を下すとき、あるいは退路を断って困難な道を選ぶとき、私たちはよく「覚悟を決める」と言います。腹をくくり、最後までやり抜くと心に決めてこそ、人は困難な物事を成し遂げることができます。

この「覚悟」は、もともと「真理を悟り、真智を開く」という意味の仏教の言葉です。単に歯を食いしばって決意を固めることではなく、迷いを離れ、物事の真実の姿を見極めることこそが、本来の「覚悟」なのです。

「聖天様の信仰は、一度始めたらやめられないと聞いたのですが、本当ですか」と尋ねられることがよくあります。

そもそも十一面観音様の大慈悲によって仏法に導かれた聖天様が、信仰を離れたからと罰をお与えになるはずがありません。しかし、迷いや損得勘定にとらわれ、恐る恐る手を合わせている状況は、仏教の説く「覚悟」とは程遠く、叶うはずの願いも自ら遠ざけてしまう可能性があるのも事実です。

とはいえ、最初から迷わずに信仰するというのはなかなか難しいことかもしれません。

実際に、聖天様から大変大きなご利益を頂いたという方のお話では、窮地に立たされて迷う余裕もなく、最後の望みとして聖天様におすがりしたというものが少なくありません。『大聖歓喜天利生記（大井聖天発行）』にも、そのような話が数多く出てきます。

自分の知恵や力ではどうにもならないと悟り、迷いを捨てて聖天様を信仰する覚悟を決められたからこそ、大きなご利益につながったのでしょう。

窮地に陥らなければ、なかなか計算や執着を捨てきれないのが私たちの常です。だからこそ、日々の勤行が、自らの執着を離れ、心をまっさらにする場となるのです。

当山のお勤めの経本である「大聖歓喜天礼拝作法」の最初と最後には、「帰命頂礼自在神力大聖歓喜双身天王……」とあります。この「帰命」とは、「己の身命を投げ出して仏に帰依すること」です。つまり、自分の計らいや打算を捨てて、聖天様にすべてお任せすることこそが、私たちが持つべき本当の意味での「覚悟」なのです。

この覚悟を胸に日々を過ごせば、思い通りにならないことに一喜一憂する必要もなくなります。どのような出来事も糧にして自らを高め、執着を手放していく。そうした成長こそが、聖天様からいただく何より大きなご利益でしょう。

今月のご縁日 11月 の行事予定

御畳講（おたたみこう）

11/20（金） 11:00～

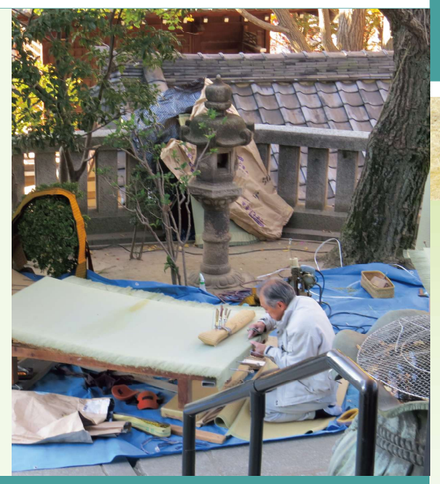
講金：2,000円

本堂の畳替えにあわせ、今年も御畳講を執り行います。皆様からお納めいただく講金は、本堂の畳を新しくするために大切に使わせていただいております。

法要では、大般若経の転読を奉修し、皆様の家内安全ならびに諸願成就を祈念いたします。新たな畳を迎える節目に、日頃のご加護に感謝し、皆様の安寧を願う法要です。

本堂の畳替えは 11 月 24 日・26 日の二日間を予定しており、職人の手によって新しい畳へと敷き替えられます。畳替えを終えた本堂には青畳の清々しい香りが広がり、新年を迎えるにふさわしい清新な雰囲気となります。

なお、畳替えの作業中も通常通りご参拝いただけますが、時間帯によっては立ち入りを制限する場合がございます。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



写経供養会（しゃきょうくようえ）

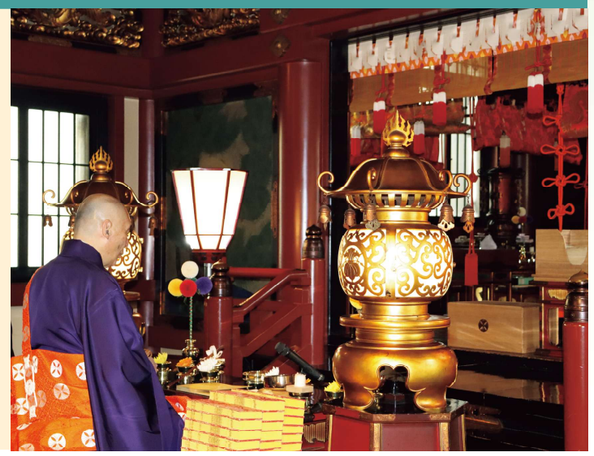
11/8（日） 11:30～

講金：2,000円

一年を通じて写経の会でお納めいただいたお写経を、本堂御宝前にて供養する写経供養会を執行いたします。皆様が心を込めて書かれたお写経をお供えし、大般若法要にてそれぞれの願いが成就するよう祈念いたします。

また、写経を五十巻納められるごとに、その節目を記念して表彰を行っております。該当される方には事前にご案内いたしますので、当日は開始時刻までに本堂へお集まりください。

写経供養会とあわせて、当日の写経の会も通常通り行います。日頃より写経に励まれている方はもちろん、これから始めてみたいという方も、どうぞご参加ください。



月間行事

朝まいり会

11月1日～7日　午前8時～8時半　会費：500円也

皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても１週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

合同大般若法要

11月25日(水)　午前11時　法要料：5,000円也

皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

写経の会

11月8日(日)　午前10時、午後1時　会費：500円也

お経を一文字一文字丁寧に写すことにより仏様の功徳をいただけます。
始めてご参加される方は開始20分前にお越しください。

坐禅の会

11月28日(土) 午前9時半～10時半
参加費：500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

日曜勤行

11月8日(日)　午前９時　参加費：無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

ライブ配信のご案内 | 御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。▶

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。

～待乳山散歩会のご案内～

上野さんぽ会

満員御礼

11/21 土曜日

- 日　　時：午前９時集合
- 集合場所：京成上野駅 正面口
- 参 加 費：2,000 円也

※辯天堂、根本中堂、葵の間、徳川歴代将軍御霊廟は堂内撮影禁止です。
※別途、御朱印代として
根本中堂（瑠璃殿）・辯天堂　**各 500 円**
御朱印は書置きのみのお授けとなります





11月21日（土）開催の上野さんぽ会は、おかげさまで**定員に達しました**。多くのお申し込みをいただき、誠にありがとうございます。
ご参加の皆様は、当日に向けて体調を整えていただき、元気にご参加くださいますようお願いいたします。.
当日は皆様とご一緒にお参りできることを楽しみにしております。







七五三参りのご案内

当山では十月から十一月を中心に七五三参りをご予約にて承っております。
お参りは一家族ごとに本堂内陣で行者様から直々にお加持を授けられます。またお子様のお名前が入りましたお守りとお供物をお授け致します。
特に土日の法要はご希望の方が多い場合がございますので、お早めに寺務所にてお申し込みください。

御志納金　5,000 円也

世話人往来

9月20日より、佐藤雄彦様が新世話人として就任されました。
これからお寺の行事や運営においてお力添えをいただき、お寺を支えていただくこととなります。
今後のご活躍とご尽力に心より感謝申し上げます。

「金龍の護りと厄災への祈り」　水谷洸祐

用語コラム

街を渡る風に秋の深まりを感じる季節となりました。
今年の夏から秋にかけては、全国各地で激しい大雨による冠水や土石流など、水にまつわる自然災害が相次ぎました。被害に遭われた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。
当山は、山号の「金龍山」が示す通り、龍神様と深いご縁で結ばれています。推古天皇の御世、地中から霊山が湧き出した際、金龍が舞い降りてこの山を守護したという伝承は今に語り継がれています。
一般的に龍神は「水を自在に操る神」であり、豊かな実りをもたらす恵みの雨を降らせる一方で、時に暴れることで恐ろしい水害を引き起こすとされています。仏教の教えでは、この自然の猛威を世の中のすべてが変化し続ける「諸行無常」の現れとして捉え、平穏に見える日常も絶対的なものではないと考えます。古来から自然を人間の力では抗えぬ尊い力として捉え、畏怖と感謝の心を重ねてきました。
『法華経』において、龍神（八大龍王など）は仏法や人々を護る聖なる存在（護法善神）として登場します。さらに『法華経』の「提婆達多品第十二（だいばだったほん）」には、龍王の八歳の娘が悟りを開く物語が描かれます。これは「どんな存在であっても、等しく仏の心を持ち、救われる」という天台の一乗思想における平等の教えを象徴しています。
『法華経』には、龍神が「荒ぶる水の象徴」としてだけでなく、「尊い悟りを開く仏法の守護神」として描かれているのです。
自然の猛威を前にした時、私たちは人間の力の脆さを実感せざるを得ません。龍神様を敬う心とは、自然への畏怖を取り戻し、互いを慈しみ合って生きるという誓いでもあるのです。
金龍が霊山を抱き護ったように、聖天様のお力が、被災地の早期復興と皆様の平穏な日々を照らしますよう、心より祈念いたします。
金龍が霊山を抱き護ったように、聖天様のお力が、被災地の早期復興と皆様の平穏な日々を照らしますよう、心より祈念いたします。

ご報告

「開山会大法要執行」



9月20日（日）、開山会大法要を執行いたしました。当日はあいにくの雨となったため、予定していたお練り行列は取りやめ、本堂入口にて声明をお唱えした後、入堂いたしました。
入堂後は、当山の世話人が列をなし、内陣へ供物をお供えする奉献の儀が行われました。その後、内陣にて法要を厳かに執り行い、皆様とともにお経をお唱えし、聖天様のご加護を祈念いたしました。
天候の影響を感じさせないほど大勢の方にお越しいただき、開山会を無事に執り行うことができました。
法要終了後には、信徒会館大広間にてお抹茶の接待も行われ、参詣された皆様にひとときおくつろぎいただきました。台風の接近が心配される中でも、多くの皆様にご参詣賜りました。皆様のご多幸を祈念申しあげます。





ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。
当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。
またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千円（一週間）
浴油祈祷 四千円（一週間）
華水供 六百円（一日）

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。